

各位

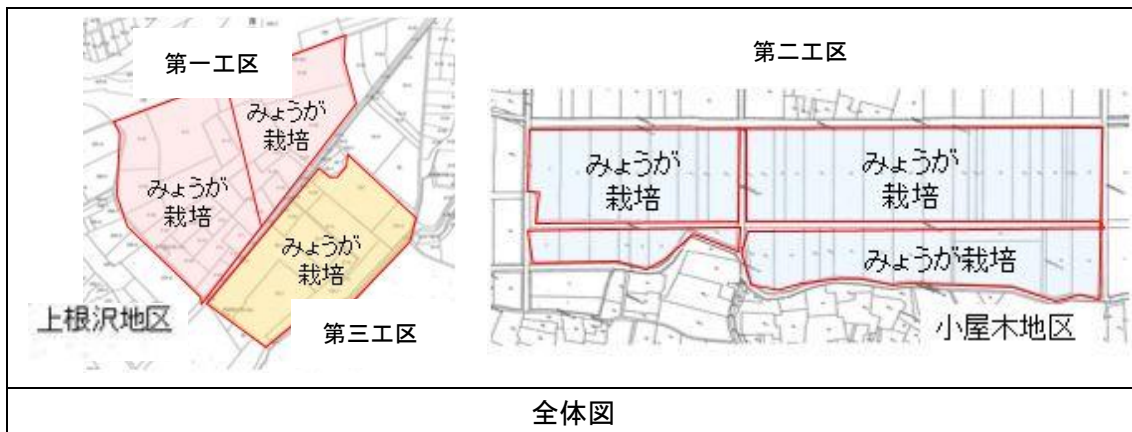
平成 30 年 5 月 29 日

株式会社トーヨーエネルギーファーム

大規模ソーラーシェアリング（11.3MW）発電開始 およびミョウガ定植開始のお知らせ

当社はかねてより福島県南相馬市小高区にて 18.5 ヘクタールの農地を有効活用し、大規模ソーラーシェアリング事業（営農型発電）の計画を進めてまいりましたが、この度 11.3 メガワットの発電およびミョウガの定植を開始いたしましたのでお知らせいたします。

ソーラーシェアリングとは農地に支柱を立て上部に太陽光発電パネルを設置し、その下で農業を同時に行う事業です。2018 年 4 月より全ての面積でミョウガの定植を開始し、想定収穫量は年間 69,369kg（約 70t）を予定しています。ソーラーシェアリングは作物を生産すると共に FIT による売電収入を得ることができるので、農業収入と売電収入の両立により持続可能な営農を実現でき、今後の農業へ期待されております。



1. 本事業の特徴

① 食料とエネルギーの供給に貢献

本事業では、太陽光パネルによる適度な遮光により日照栽培に適したミョウガの栽培をし、当該地域の復興に寄与できるようブランド化に取り組みます。また、市場出荷する際は線量検査をおこなうことで作物の安全性を広くアピールします。

② 東日本大震災後の遊休農地活用

本事業地は、震災後、農家の高齢化や避難解除準備区域（2016 年 7 月解除）で

News Release


あったことにより、農地荒廃の懸念がありました。が、本事業によりいち早く営農を再開することで、農地の有効活用および地域営農の再生ならびに雇用促進へ貢献いたします。

③ 国内最大級のソーラーシェアリング

全工区が完成したことにより発電規模 11.3MW となり、農地法の許可を取得した同種の事業として国内最大規模のソーラーシェアリングとなります。なお、発電は全量を東北電力株式会社へ売電し、想定年間発電量は約 13,166Mwh となり、一般家庭約 2,200 世帯分に相当します。

2. 発電所概要


第一工区	
所在地	福島県南相馬市小高区上根沢
敷地面積	31,874 m ² 、33,019 m ²
発電規模	2,266.88kW、2,020.48kW
売電開始月	2017年5月
予想作物収穫量	23,847kg/年



第二工区	
所在地	福島県南相馬市小高区小屋木
敷地面積	35,151 m ² 、26,401 m ² 、2,1751 m ²
発電規模	1,971.2kW、1,564.64kW、1,305.92kW
売電開始月	2017年12月
予想作物収穫量	29,757kg/年



第三工区	
所在地	福島県南相馬市小高区上根沢
敷地面積	30,691 m ²
発電規模	2,205.28kW
売電開始月	2018年3月
予想作物収穫量	15,765kg/年



3. 今後の取り組みについて

ソーラーシェアリング事業は、農業委員会をはじめ、各行政機関の許可を得たうえで行う事業であり、国内の実例が少ないことから許可までの道のりにはいくつもの課題があります。そのような中、本事業にて大規模ソーラーシェアリングを実現させたノウハウを生かし、今後は更なる自社物件の展開や営農型発電に興味がある個人農家、法人へのコンサル・サポート事業も行っていきたいと考えております。

なお、本事業含めメガソーラー事業においては、当社が発電事業者となり、O&M も担当します。また、グループ会社であるトーヨー建設が EPC を担当します。

News Release

4. 当社について

トーヨーエネルギーファームは、2011年8月に設立し、環境関連事業に参入して以来、自然エネルギーを活用した事業開発を積極的に進める中、国内全域で再生可能エネルギーの他、アグリ事業にも注力しております。兵庫県養父市の国家戦略特区での特区認定事業者として営農と再生可能エネルギー（バイオメタン）を組み合わせた事業を開始するなど、アグリ事業の新たな形を模索する取り組みを行っております。

トーヨーグループとして“多様な事業とそのシナジーで新しい価値を創造し、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する”を合言葉に、50年後、100年後を視野に入れた社会貢献と、企業価値の向上を目指しています。

今後も積極的にわが国の再生可能エネルギーの普及拡大と地域社会の活性化に貢献してまいります。

5. お問い合わせ

株式会社トーヨーエネルギーファーム TEL : 03-5622-5707

以上